

畑かんによる多品目野菜生産と担い手育成で地域農業を支える

国営総合かんがい排水事業及び関連事業により整備された農地に担い手として新規参入し、畑かんがいの野菜生産を大規模に展開するとともに、新規就農希望者を研修生として積極的に受入れ、地域の担い手育成にも取り組んでいます。



国営総合かんがい排水事業 「石岡台地地区」昭和45～平成元年

関係市町：茨城県 小美玉市、石岡市
笠間市、かすみがうら市、
茨城町、鉾田市、行方市
受益面積：7,405ha
概要：農業用水の安定的な確保と
供給を図るため、揚水機場、
用水路を整備。併せて、農
地造成、区画整理を実施。

さいえん 農業生産法人やさと菜苑株式会社

(代表取締役：高橋 大)

【茨城県石岡市】

経営面積：15ha

主要作物：キャベツ、ねぎ、
にんじん、だいこん、
しょうが、はくさい、
こまつな、ほうれんそう等

労働力：自家労働 1名、
常時雇用15名

(正社員 6名うち研修生2名、パート 9名)



農業生産法人の設立

「東成井西部地区」は、基盤整備の遅れから生産性が低く、農業従事者も高齢化しているため、こうした諸問題を解決すべく平成20年度から畑地帯総合整備事業に取り組んでいます。

当初は地域の個人農家を担い手に位置付け、農地を集積する計画で着手しましたが、事業の進捗とともに担い手不足の問題が顕在化してきました。

そこで地域から相談を受けた「JAやさと」が、自身が担い手となり直接農業経営に参画するとともに、新規就農者の受け皿となって地域農業を支えていくため、平成24年8月に農業生産法人「やさと菜苑株式会社」を設立しました。

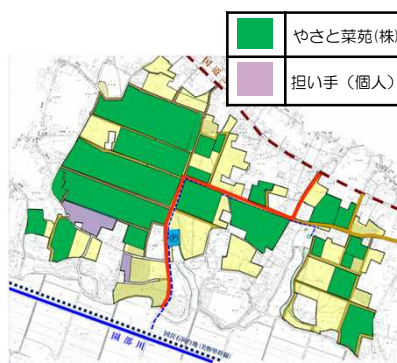


整備後の農地の利用状況

農地中間管理機構を活用した農地集積

畑地かんがいににより計画的な栽培が可能となり、契約栽培による販売先の確保が進みました。

これまで地域の要請を受け、規模拡大を進めてきましたが、法人として安定した長期計画を立てるためには、長期間の農地の賃借契約を結ぶ必要がありました。



現在の担い手への集積状況

このため、「東成井西部地区」の事業実施協議会の協力のもと、これまでに、地区整備面積25haの約6割（15ha）を「やさと菜苑株式会社」が借り受け、そのうちの11haで農地中間管理権を設定することができました。

畑地かんがいの効率的利用

「やさと菜苑株式会社」では、整備されたほ場での営農開始に併せて、大規模で効率的な営農が展開できるよう、長ねぎにおける畑地かんがいの最適な利用方法の選定や機械化による省力効果の実証試験を行ってきました。

その結果、点滴かん水に液肥を混入させることで、品質の向上と増収、さらには収穫時期を早める効果が確認されました。また、収穫機械等を積極的に導入し、一層の低コスト化・省力化を実現しています。

現在は、露地栽培のキャベツ、ねぎ等に加え、13棟のハウスを所有し、ほうれんそうとこまつなの周年栽培に取り組む等、多品目の野菜栽培による収益性の高い営農を展開しています。



長ねぎの点滴かん水



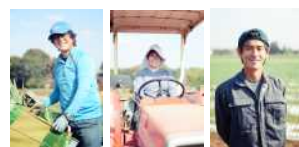
こまつなの育苗
散水チューブによるかん水

地域の担い手育成に貢献

地域農業を将来的に支えていくためには、担い手の確保が重要です。このため「やさと菜苑株式会社」では、やさと地域で就農することを条件に、新規就農希望者を研修生（最大2年間）として積極的に受入れ、実務経験を積ませた後、独立して就農できるよう農地の確保から住居の確保までを一体的に支援しています。

法人設立後6年が経過し、これまでに計15名の研修生を受入れ、うち9名が地域内で独立して営農しています。

今後もこうした取り組みを通じて地域農業を将来にわたって支えられるよう、営農・人づくりの両面において積極的に取り組んでいきます。



やさと菜苑(株)で
農業を学んだ研修生